

会議等名	平成 29 年度 第 3 回海老名市子ども・子育て会議
日 時	平成 29 年 11 月 10 日（金） 10：00～11：45
場 所	海老名市役所 3 階 政策審議室
出席者	委 員：篠原 俊正 委員、鍛冶 邦彦 委員、小島 良之 委員、 櫻井 慶一郎 委員、山田 由美子 委員、柴田 泰輔 委員、 増田 芳夫 委員、亀澤 ますみ 委員、難波 光子 委員、 亀谷 香 委員、畔上 由紀 委員、渡部 理子 委員 （欠席；櫻井 篤 委員、木村 伸之 委員、成岡 誠司 委員） 事務局：保健福祉部次長（福祉担当）兼福祉事務所長 小澤 孝夫、 参事兼子育て支援課長 告原 幸治、主幹兼医療・手当係 長 奥田 ともみ、医療・手当係 主事 林 健太、主幹兼保 育・幼稚園係長 安齊 浩史、保育・幼稚園係 主事 片山 考 人 傍聴者：0 名
1 開 会 2 議 題 【審議事項】 （1）特定教育・保育施設の定員設定について ① 審議内容 ・ 別紙資料に基づき事務局から説明した。 ② 質疑応答 ・ 特になし。 ③ 審議結果 ・ 審議事項の内容について、了承を得られた。 （2）子ども・子育て支援事業計画の中間見直しについて ① 審議内容 ・ 別紙資料に基づき事務局から説明した。 ② 質疑応答 ・ 海老名市の人口推計を見直した解消プランとして評価しているが、施設定員を増やす際にはいくつかの問題を並行して考えなければいけない。まず、保育の質の問題だが、幼稚園や認定子ども園同様、保育園も教育施設であり、すべての子どもに対して保育の質が保たれるべきであるということ。保育の質をどうやって維持し、子どもたちをどのように育て	

ていくかについて各園で意見が分かれたとしても、海老名市が基本方針を示す必要があり、公立保育園のあり方が問われてくるものだと考えている。保育の主体は保護者ではなく子どもであることを強調したプランであってほしい。次に保育者確保の問題だが、各自治体で競い合っている状況の中で、海老名市も大学と連携するなど積極的に動く必要がある。最後に、公立保育所のあり方であるが、今後どのような考えで運営していくのかを具体的に解消プランに取り入れてもらいたい。(委員)

→ 今回ご提示した解消プランについては、子ども・子育て事業計画の需要量と定員数の見直しが目的である。保育の質を維持することや保育者の確保が必要であることは市でも理解している。国でも、保育士の給与体系を変えるなど試行錯誤しながら保育の質を確保できる組織作りに力を入れているなか、市としては、民間保育園も対象としている研修会を通して一定の基準をもった保育の質を担保したいと考えている。また、公立保育園の役割としては、市の保育園の先導的かつ指導的立場であり、本会議においても今後ご検討いただくものと考えている。(事務局)

・ 今後も保育園を増やし続けるのか。(委員)

→ 見極めが非常に難しいが、本計画最終年の平成31年までは、保留者を含めた待機児童がゼロになるまで保育園を増やす考えである。今後については調査・検討をしながら、次期計画に向けて準備していく必要がある。(事務局)

・ 資料内の年号に西暦を追加していただきたい。(委員)

→ 修正させていただく。(事務局)

③ 審議結果

・ 審議事項の内容について、了承を得られた。

3 その他

・ 広報えびな「HUGHUG 赤ちゃん」にテーマ性を持たせることで、より魅力的な情報発信となる。(委員)

→ 所管課へ伝える。(事務局)

・ 子どもが二人以上いる引き渡し訓練について、幼稚園や小学校などで引き渡す時間帯が同じであり、車を使わないと二人目の引き渡しに間に合わない親御さんがいた。有事の際は車など使用できない状況が考えられるため、訓練のための訓練にならないような状況を考えていただきたい。(委員)

→ 各園や小学校の事情もあるかと思うが、調整ができるものがあるか確

認する。(事務局)

- ・ 潜在保育士対策として、保育資格を持つ方の子どもを優先的に保育園に入れるなどの対応はできないのか。(委員)
→ 市内保育園にお勤めされる保育士の子どもについては選考基準の見直しを行い、より入りやすいような環境を整えている。(事務局)
- ・ 立哨当番について、年間通して実施しているわけでもないのに、シルバー人材派遣の方に依頼するなどできないか。(委員)
→ 地域で支えあう意味でお願いしている。市内すべての危険個所にシルバー人材派遣を依頼することは難しいが、毎年危険個所については市として改善している。足りない部分についてはP T Aを通じてご協力をお願いしたい。(事務局)
- ・ 学童保育の受け入れ先が足りないことについて、市としてどのように考えているか。(委員)
→ 所管課でも現状は把握している。来年度の会議では、所管課同席のうえ、次期計画についてご検討いただくことを考えている。(事務局)

4 閉 会

次回会議は、今年度の実績報告について来年6月頃を予定している。また来年度の会議については、次期計画のご議論をお願いする予定である。(事務局)

以 上